

店舗用・学校用ロスナイ システム部材 [業務用]

微弱風量運転ユニット

形名

PX-24TBJU (店舗用)

PG-24GBJU (学校用)

据付工事説明書

販売店・工事店様用

微弱風量運転ユニットは夜間不在となる居室に設置されたロスナイに据付け、ロスナイを微風で常時運転させるものです。

■据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

また、ロスナイ本体の据付工事説明書も併せてご覧ください。

■据付工事は販売店・工事店様が実施してください。(お客様自身で工事しないでください)







据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。



■ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。

■お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室内据付けや雨水がかかるような屋外据付けはしない 火災や感電の原因になります	 指示に従い必ず行う	定格電圧・制御容量範囲で使用する 間違った電圧に接続すると火災・感電の原因になります
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因となります		端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります
 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります		電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う コネクタの接続は確実に行ってください 接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります
 ぬれ手禁止	ぬれた手で操作しない 感電のおそれがあります		

 <b>注意</b>		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>●据付けの際は手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります)</li> <li>●電線を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する (使用しないと火災などの原因になることがあります)</li> </ul>		

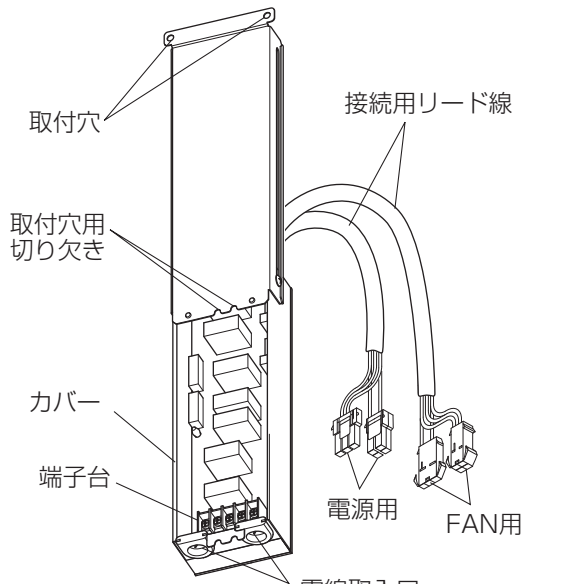
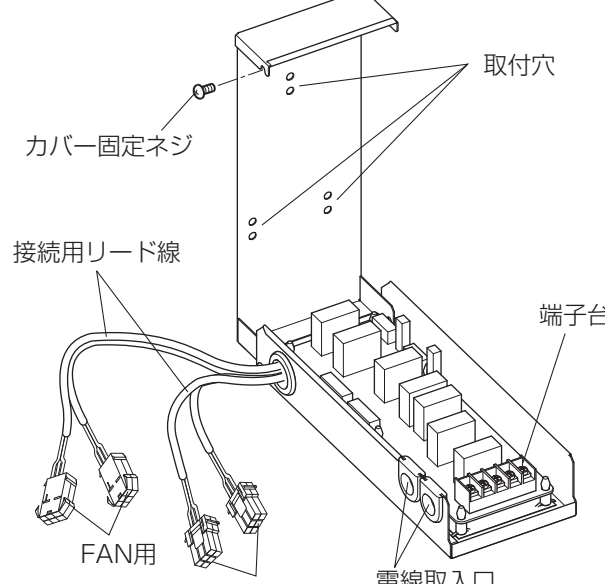





















### お願い

寒冷地(北海道、東北の一部)での24時間運転は冬季に結露するおそれがありますので断熱材貼付等、別途対策が必要です。

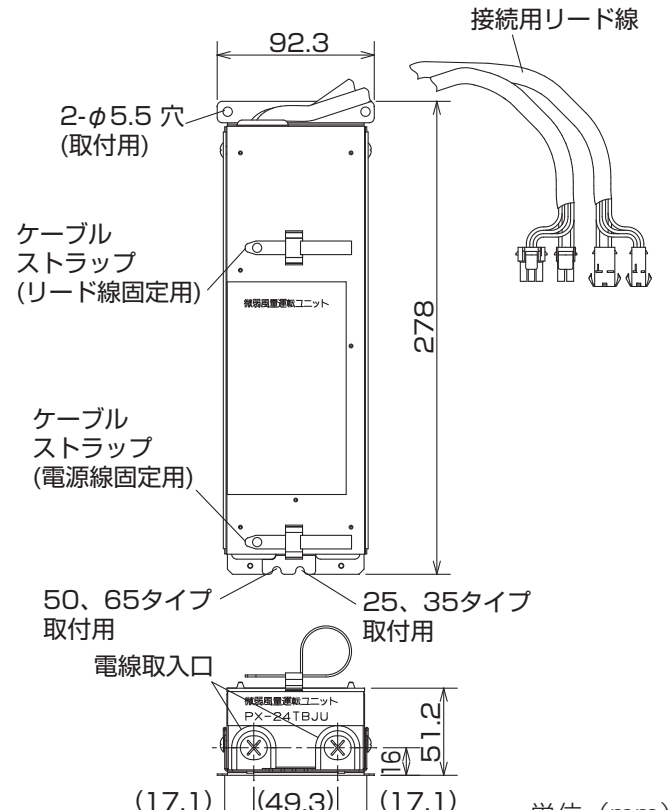
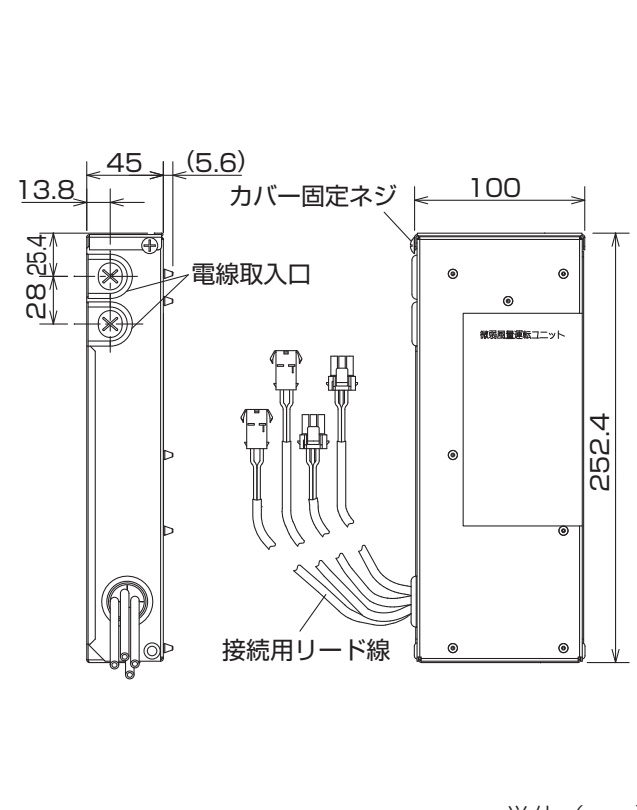
## 適用機種

- 適用ロスナイとコントロールスイッチはカタログの適用機種一覧表で確認してください。  
※この微弱風量運転ユニットはリレーボックス、フリープランアダプタ寒冷地運転用回路との併用はできません。
- SKU-35ACと合わせて静かな場所で微弱運転するときには送風音が小さいためモータ音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。

# 各部のなまえ

店舗用 : PX-24TBJU	学校用 : PG-24GBJU							
								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><b>付属部品</b></div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"><b>付属部品</b></div>							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">                     コネクターカバー…1枚   </td> <td style="width: 25%;">                     クリップ ……2個   </td> <td style="width: 25%;">                     プッシュ…2個    <small>※SKU-HCタイプには使用しません</small> </td> <td style="width: 25%;">                     ケーブルストラップ…2個   </td> </tr> </table>	コネクターカバー…1枚 	クリップ ……2個 	プッシュ…2個  <small>※SKU-HCタイプには使用しません</small>	ケーブルストラップ…2個 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">                     コネクターカバー…2個   </td> <td style="width: 33%;">                     クリップ…4個   </td> <td style="width: 33%;">                     取付ネジ…3本   </td> </tr> </table>	コネクターカバー…2個 	クリップ…4個 	取付ネジ…3本 
コネクターカバー…1枚 	クリップ ……2個 	プッシュ…2個  <small>※SKU-HCタイプには使用しません</small>	ケーブルストラップ…2個 					
コネクターカバー…2個 	クリップ…4個 	取付ネジ…3本 						

# 外形寸法図

店舗用 : PX-24TBJU	学校用 : PG-24GBJU
	
<p>(17.1) (49.3) (17.1) 単位 (mm)</p>	<p>単位 (mm)</p>

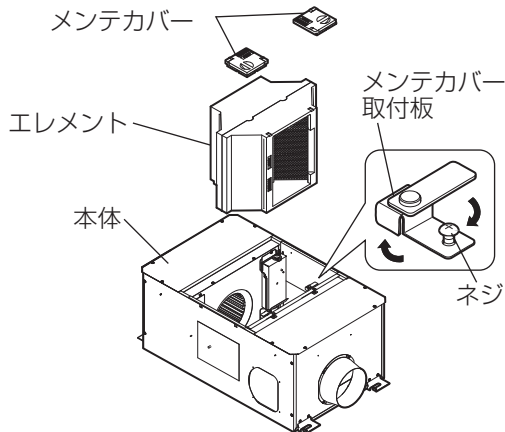
# 据付方法

製品本体が2005年5月生産以前のもものは別途取付加工が必要となります。

## 店舗用ロスナイ：SKU-HCタイプの場合

必ず本体施工前に据付けを行う。

1



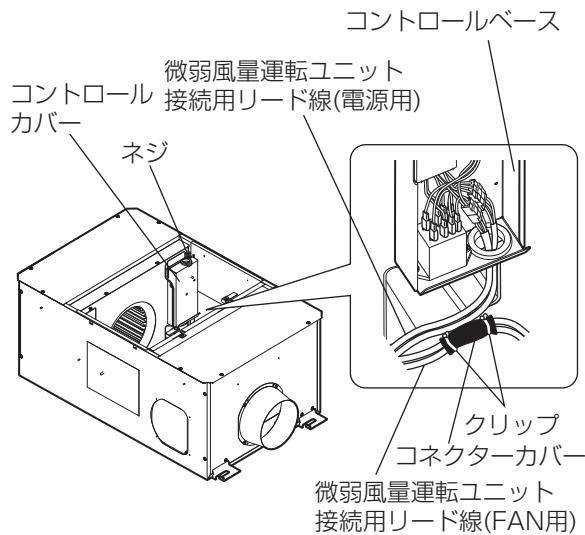
製品本体からメンテカバー、エレメントを取りはずす

- 1.メンテカバーを取りはずす。(2個)
- 2.メンテカバー取付板を固定しているネジをゆるめ、エレメントが取りはずせるように90°回転させる。
- 3.エレメントを取りはずす。

### お願い

- メンテカバー、エレメントはなくさないください。

2



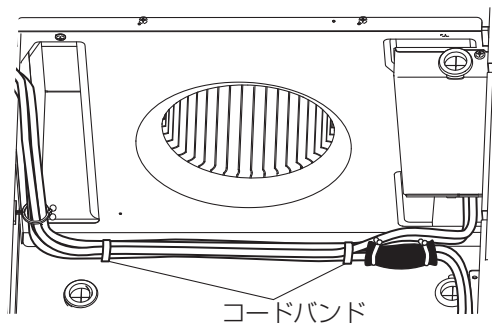
コネクターを差し替える

- 1.ロスナイ本体のコントロールカバーをはずす。
  - 2.コントロールボックス内のコネクターをはずし、微弱風量運転ユニットのコネクターに差し替える。
  - 3.図のようにコネクターカバーを取付ける。
- 接続用リード線(電源用)はコントロールベース下部のブッシュに通し、コントロールカバー内で接続する。
  - 接続用リード線(FAN用)はコントロールカバー外にて接続後、付属のコネクターカバーをかぶせ、クリップ(2か所)を取付ける。

### お願い

- ロスナイ本体のコントロールカバーは上部のネジ(1か所)をはずせば取りはずせます。
- コネクターはしっかりと差し込んでください。
- 結線図(7ページ)をよく見て結線してください。

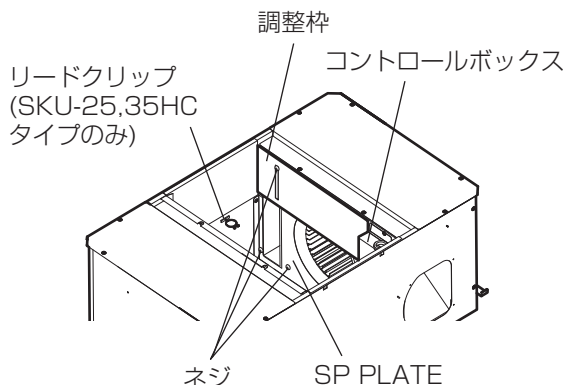
3



コードバンドで固定する(2か所)

ロスナイ本体に取付けてあるコードバンドでリード線を浮き上がらないように固定する。

4



微弱風量運転ユニットを据付ける

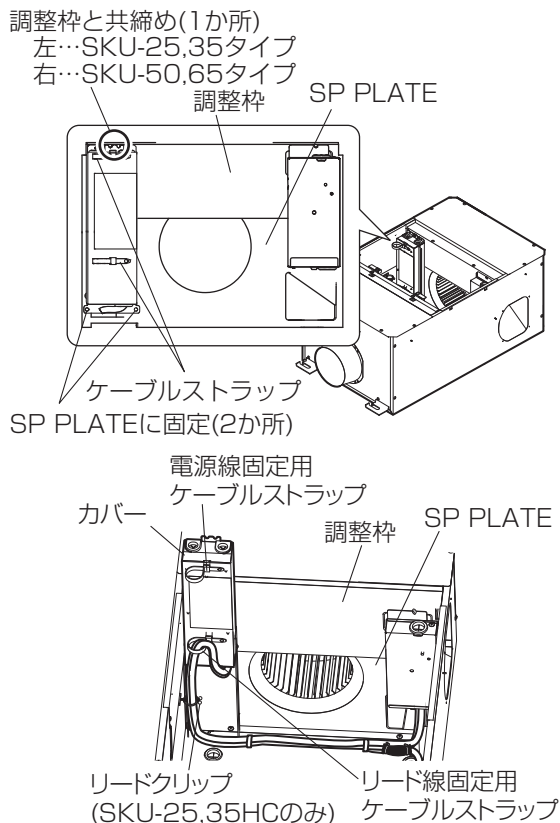
- 1.ロスナイ本体のコントロールボックスの反対側に微弱風量運転ユニットを据付ける。

### お願い

- 取付用のネジはロスナイ本体のSP PLATEと調整枠に取付けてありますので取りはずして使用してください。

# 据付方法 つづき

4



2.左図のようにはずしたネジ3本で微弱風量運転ユニットを取付ける。

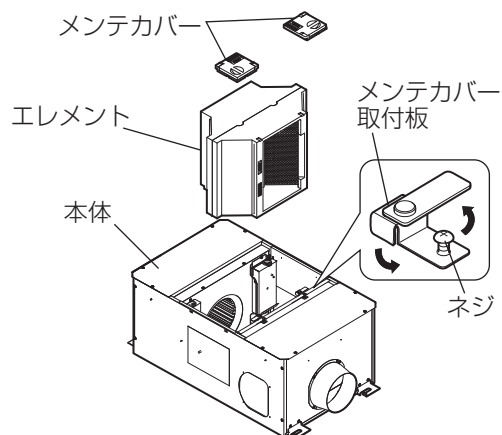
### お願い

- 微弱風量運転ユニットを取付ける前にユニット付属のケーブルストラップを微弱風量運転ユニットのカバーに取付けてください。
- SKU-50,65タイプはリード線固定用ケーブルストラップは使用しませんがカバーに必ず取付けてください。

### SKU-25,35HCタイプのみ

- SP PLATEに取付け後、カバーを引き出し、余ったリード線をケーブルストラップとリードクリップで固定し、その後カバーを戻し、調整枠と共締めする。
- 引き出した状態でリード線を固定しないと施工時にカバーが開きません。

5

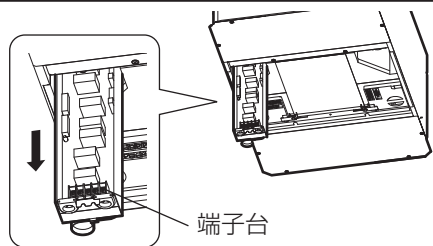


### 元通りにメンテカバー、エレメントを取付ける

取りはずしたときと逆の順序でメンテカバー、エレメントを取付ける。

- 必ずメンテカバー取付板を90°回転させてください。(天井に据付けたときにエレメントが落下します)

6



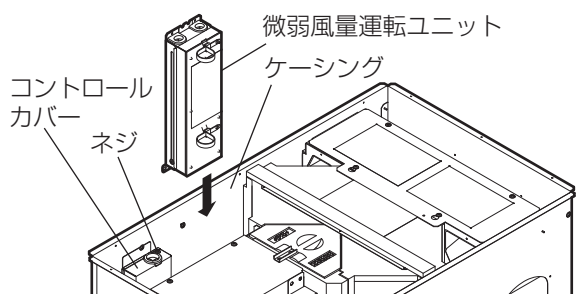
### 製品を天吊り後、スイッチ用の結線を行う

- 1.共締めしてあるネジをはずし、ユニットをスライドさせて引き出す。
- 2.端子台に微弱風量運転ユニット用スイッチを結線する。

## 店舗用ロスナイ : SKU-ACタイプの場合

必ず本体施工前に据付けを行う。

1

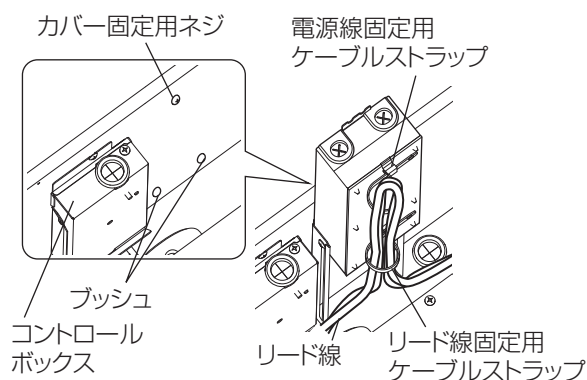


### コネクターを差し替える

- 1.ロスナイ本体のコントロールカバーをはずす。
- 2.コントロールボックス内のコネクターをはずし、微弱風量運転ユニットのコネクターに差し替える。
- 3.コネクターカバーを取付ける。(接続方法はSKU-HCタイプの据付方法②と同様)

4

2



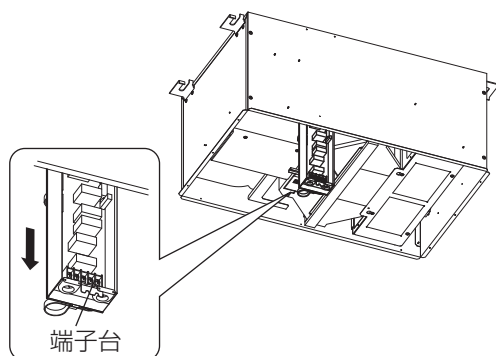
### 微弱風量運転ユニットを据付ける

- 1.ロスナイ本体に取付けてあるブッシュ(2個)を取りはずし、付属のブッシュで微弱風量運転ユニットを取付ける。
- 2.カバーを引き出し、余ったリード線をリード線固定用ケーブルストラップで固定する。
- 3.微弱風量運転ユニットのカバーをカバー固定用ネジで固定する。

#### お願い

- 引き出した状態でリード線を固定しないと施工時にカバーが開きません。

3



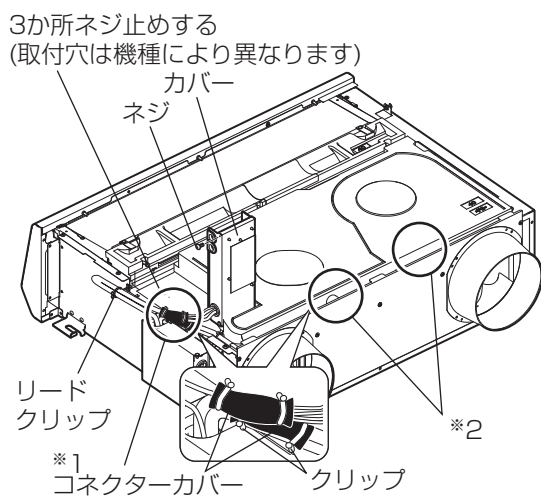
### 製品を天吊り後、スイッチ用の結線を行う

- 1.カバー固定用のネジをはずし、ユニットをスライドさせて引き出す。
- 2.端子台に微弱風量運転ユニット用スイッチを結線する。

## 学校用ロスナイ : SCH-50ESH、40ES の場合 SCF-50LS、40LS の場合

### 必ず本体施工前に据付けを行う。

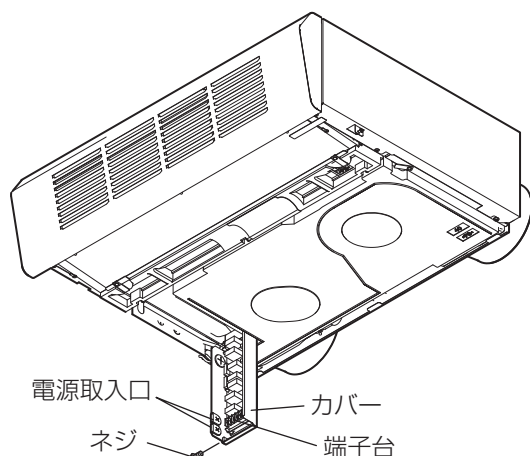
1



### 微弱風量運転ユニットを据付ける

- 1.外装パネルをはずす。(外装パネルの取りはずしまたは本体の据付工事説明書をご覧ください)
- 2.コネクターを差し替え、コネクターカバーを装着し、クリップを取付ける。  
※1.付属のコネクターカバー、クリップを使用してください。(コネクター差し替えはリード線の色を合わせて接続してください)  
※2.ロスナイ本体に取付けてあるコネクターカバー、クリップを使用してください。
- 3.微弱風量運転ユニットを取付ける。  
(1)ネジをはずし、カバーを開く。  
(2)付属のネジで3か所ネジ止める。  
(ネジ止め後、カバーを元に戻す)
- 4.リードクリップでリード線を固定する。

2



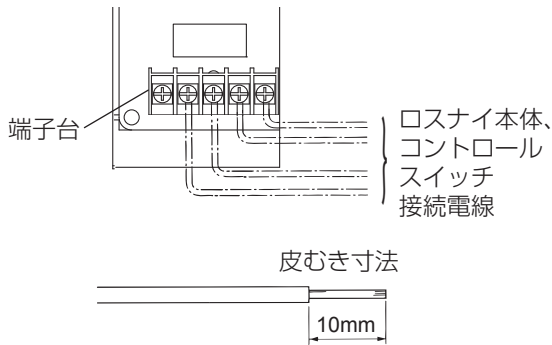
### 製品を天吊り後、スイッチ用の結線を行う

- カバーのネジ(1か所)をはずしてカバーを開け、端子台に微弱風量運転ユニット用スイッチを結線する。



# 据付方法 つづき

## 電気工事



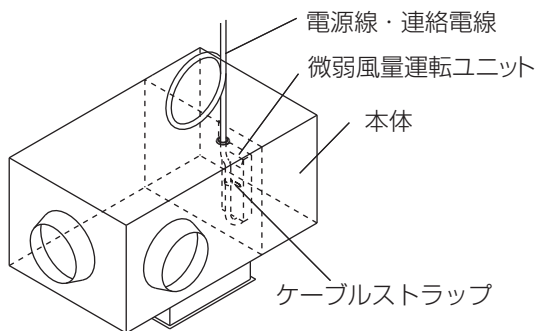
**ロスナイ本体、コントロールスイッチとの接続**  
コントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例VVF)は結線図を参照し、コードブッシュを通して端子台に接続する。

### お願い

- 電線の皮むき寸法は10mmとしてください。皮むき寸法が長すぎますと芯線同志が接触して短絡するおそれがあります。
- 微弱風量運転ユニットとコントロールスイッチ間は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

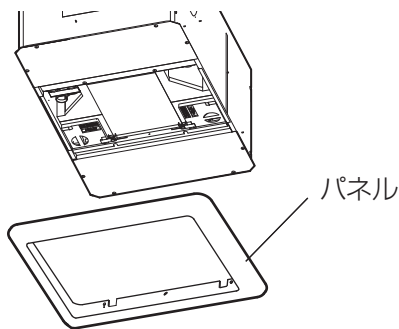
## 店舗用ロスナイ：SKU-HC、ACタイプの場合

1



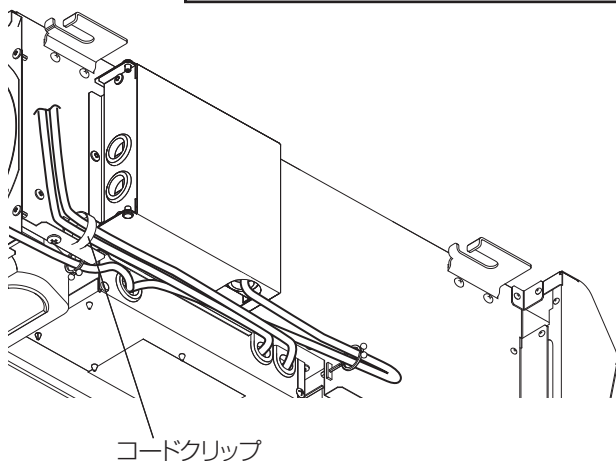
電源電線をブッシュより製品外へ引き出し、ケーブルストラップで固定し、ユニットを元に戻す。

2



パネルを取付ける。  
※HCタイプの場合、調整枠の高さ調整が必要な場合にはユニットを戻す際に行います。

## 学校用ロスナイ：SCH-50ESH、40ES、SCF-50LS、40LS の場合



### コードクリップで固定する

ロスナイ本体用の電源線およびコントロールスイッチの接続電線、微弱風量運転ユニット用の接続電線をロスナイ本体に取付けられたコードクリップで固定する。(詳しくはロスナイ本体の据付工事説明書をご覧ください)

## 結線図

- 微弱用コントロールスイッチ PX-24TSWまたはPG-24GSW 1台で微弱風量運転ユニットを10台まで運転できます。(微弱風量運転ユニットは製品台数分必要です)

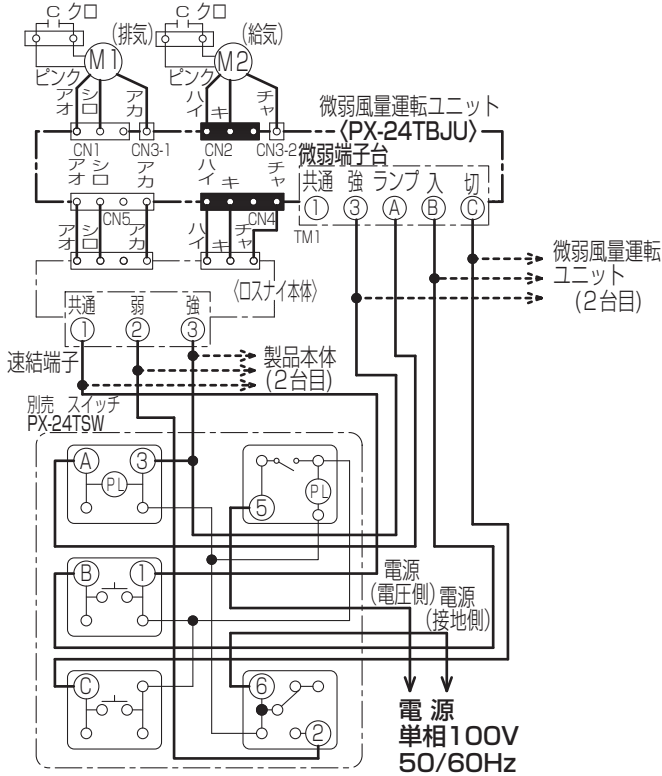
### お願い

- 結線を間違えますと、ファンが回らなかったり、微弱風量運転ユニットが破損することがあります。各コネクタおよび基板の表示を確認して間違いのないように結線してください。
- 複数台運転の場合は1台目と2台目以降の電源電線の極性を合わせてください。合っていないと回路が破損します。

※下記は回路図を示し、コネクタの配線は現品と異なります。コネクタの表示と色を確認して接続してください。

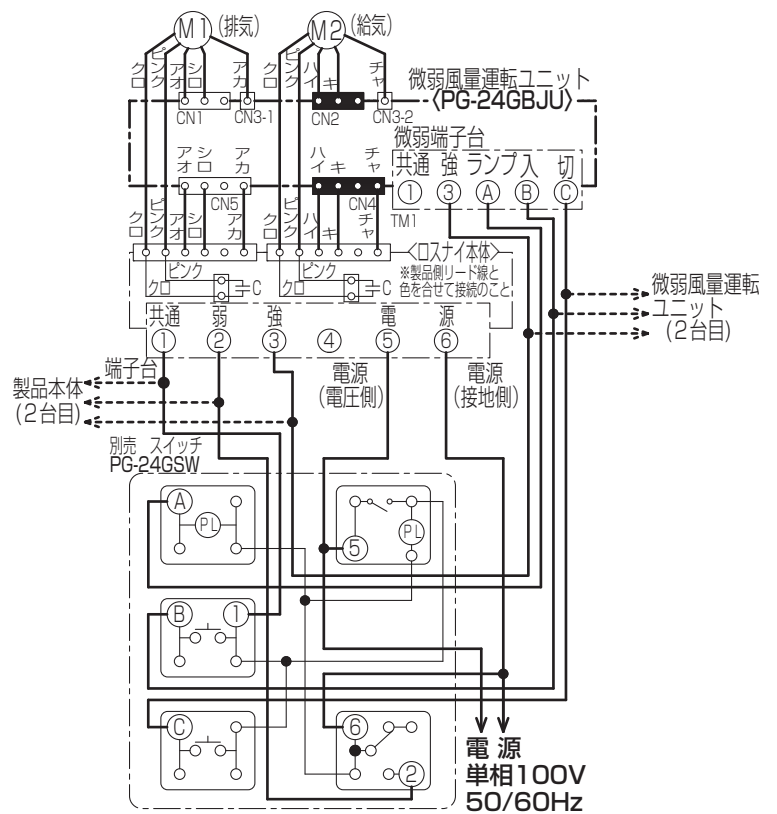
### ■PX-24TBJU

#### 店舗用ロスナイ用



### ■PG-24GBJU

#### 学校用ロスナイ用

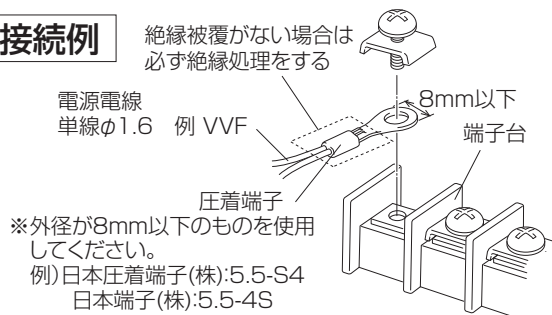


## 端子台接続時のご注意

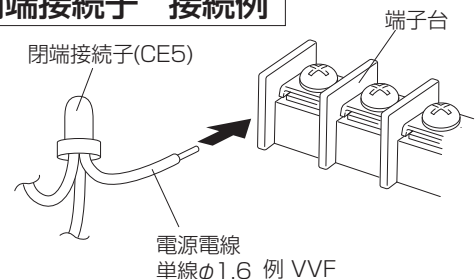
### ⚠ 注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子または閉端接続子などを使用して確実に接続する。使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

#### 圧着端子 接続例



#### 閉端接続子 接続例



## 結線の確認

本体の据付工事が終わりましたら、通電する前に結線が間違っていないか確認する。

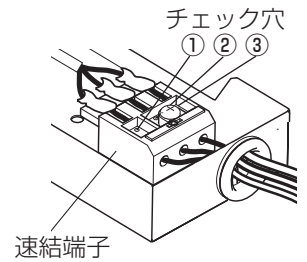
### ■組合わせ表 店舗用ロスナイの場合

微弱風量運転ユニット形名	タイプ	ロスナイ本体形名	コントロールスイッチ形名	電源
PX-24TBJU	全カセット形	SKU-25AC	PX-24TSW	単相 100V
		SKU-35AC		
		SKU-50AC		
		SKU-65AC		
	真下グリル形	SKU-25HC		
		SKU-35HC		
		SHU-50HC		
		SKU-65HC		

- 微弱風量運転ユニット端子台①は使用しません。ロスナイ本体速結端子①とコントロールスイッチの①をつないでください。
- 微弱風量運転ユニット①③を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

#### 必ず元電源を「切」の状態で行う。

1. コントロールスイッチの電源を「入」にし、風量切換スイッチを「弱」にする。
2. コントロールスイッチの「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンを押す。  
(ビニールテープ等でボタンを固定し、押したままの状態にしておいてください)
3. 抵抗の測定(ロスナイ本体)  
ロスナイ本体の速結端子チェック穴①-②、①-③にテスターを差し込み、抵抗を測定する。  
ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。



### ■組合わせ表 学校用ロスナイの場合

微弱風量運転ユニット形名	タイプ	ロスナイ本体形名	コントロールスイッチ形名	電源
PG-24GBJU	天吊露出形	SCH-50ESH <sub>2</sub>	PG-24GSW	単相 100V
		SCH-40ES <sub>2</sub>		
	床置形	SCF-50LS <sub>2</sub>		
		SCF-40LS <sub>2</sub>		

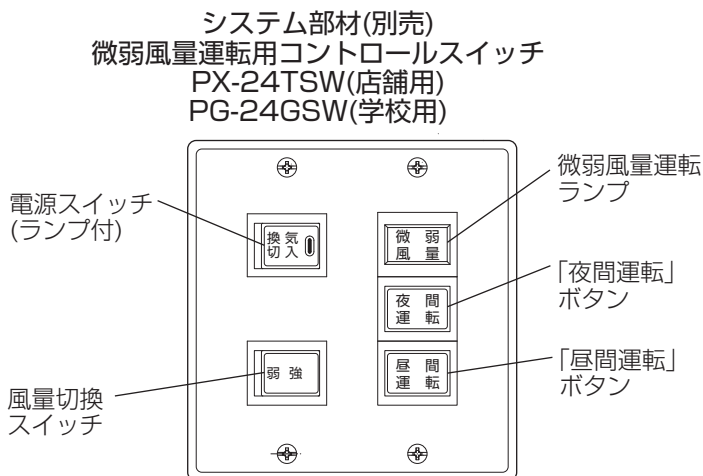
- 微弱風量運転ユニット端子台①は使用しません。ロスナイ本体端子台①とコントロールスイッチの①をつないでください。
- ロスナイ本体端子台④は使用しません。
- コントロールスイッチ③は使用しません。
- ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 微弱風量運転ユニット①③を短絡モードに誤結線されますと、回路が破損します。
- 複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

#### 必ず元電源を「切」の状態で行う。

1. コントロールスイッチの電源を「入」にし、風量切換スイッチを「弱」にする。
2. コントロールスイッチの「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンを押す。  
(ビニールテープ等でボタンを固定し、押したままの状態にしておいてください)
3. 抵抗の測定(ロスナイ本体)  
ロスナイ本体の端子台⑤⑥にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

## 試運転

### 元電源を入れ次の確認を行う。



1. コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にする。
  2. 「夜間運転」ボタンを押したときに電源ランプが点灯し、ロスナイの給気・排気の流れが強から微弱に切り換わるか確認する。
  3. 「昼間運転」ボタンを押したときに電源ランプが消灯し、ロスナイの給気・排気の流れが微弱から強に切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の据付工事・取扱説明書を参照してください。

#### お願い

- ロスナイを運転していないときに「夜間運転」ボタンを押しても微弱運転になりません。
- 微弱運転する際は、ロスナイの電源スイッチを「入」にしてから30秒以上経過してからにしてください。
- 「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンはゆっくり確実に操作してください。
- 微弱運転中に停電(落雷等で発生する瞬間的な停電も含む)が発生すると「微弱運転」が解除され、停電復帰後「強」または「弱」の運転となります。

## 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。